

第3回 (7/23号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

韮山地区、長岡地区、大仁地区の白山堂では中干し時期になりました。

長岡地区の小坂、天野、大仁地区の神島では現在は中干し中でした。大仁地区の浮橋、田原野では出穂している圃場も多く出始め、開花期にはいつている圃場も見られました。

② 病虫害状況

病虫害では、ウンカ・ヨコバイともに各地区で発生が確認されておりますが、現段階では発生数は少ないため被害の心配はありません。今後の発生量にご注意ください。

山間部では、カメムシの発生が多く確認されました。今年は全国的にカメムシの発生が多く、農林水産省からも防除の呼びかけがされています。下記の薬剤等による防除の検討をお願いいたします。

斑点米カメムシの防除時期

○スタークル粒剤 3kg/10a 3,360円/1袋 (3kg)

時 期：1回目：穂揃期～傾穂期(出穂後約3～7日)

2回目：乳熟期～糊熟期(出穂後約2週間～約3週間)

※防除が1回のみ場合は、穂揃期～傾穂期の防除を行きましょう。

備 考：カメムシ以外にもウンカ類やヨコバイ、ニカメイチュウ等にも効果あり。

除草剤の種類

○クリンチャーバスME液剤 500～700ml/10a (70～100ℓ で散布) 2,090円/500ml

使用時期：ノビエ5葉期、収穫50日前まで

※クリンチャーとバサグランの成分が入っているので、ヒエにも一年生雑草にも効きます。

○バサグラン粒剤 3～4kg/10a 3,510円/3kg

使用時期：移植後15日～55日 収穫60日前まで

使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布

※散布後2日程度は晴天が続く時期に散布しましょう。

除草効果が落ちる場合があります。

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。